

第11回（2年）

1. 日 時：令和5年8月30日（水）
13:30～15:30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ
大会議室
3. テーマ：「気象と防災」
4. 講 師：伊藤 荒人先生
5. 出席者：29 / 29名
6. 内 容

- 今年の天候は猛暑（異常が普通となった）
- どのようにして暑さから逃れたらよいか
 - ・伝導；二重サッシ等、気化熱の利用
 - ・放射；カーテン等を活用し光を入れない
 - ・対流；空気の流れを利用し熱を放出
- 雨量の単位mmは雨の深さで計る。（11cmなら110mm）、安城の年間雨量は1,400mmで愛知県では少ない地域
- ※参考 世界の平均は800mm

- 日本を支配する4気団
小笠原気団（夏）シベリア気団（冬）長江気団（春秋）、オホーツク気団（冷涼・湿潤）
- 気象災害と防災
 - ・日本の平均気温100年で1.2度上昇
 - ・大雨の危険な季節は台風の影響のある9月（27度以上、海水温が高い時期に発生）
 - ・避難は避難所へいくことではなく、安全を確保する行動をとることが必要

7. 感想

災害に対していつかは起こると思っけていても、なかなか準備ができずにいた。この講義をきっかけに、災害対策（避難場所や経路、非常用バックの準備、家具類の転倒防止等について、再確認することが大切であることを学びました。

